

海上保安庁からの情報提供

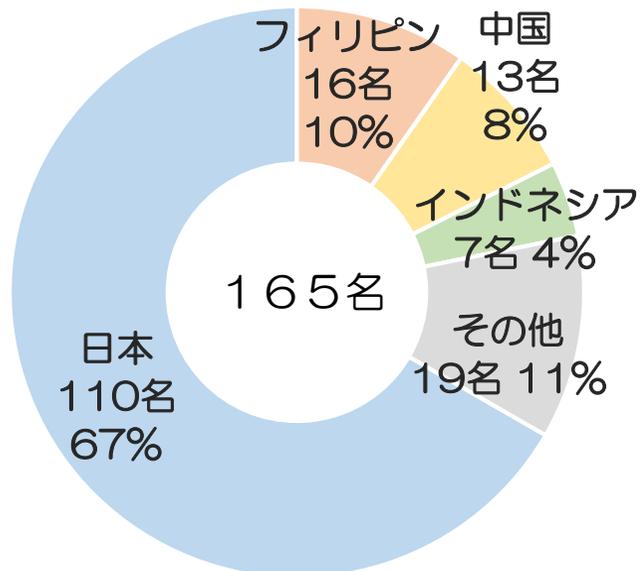
アウトライン

1. 海上における救急事案対応状況(令和元年度)
2. 自治体からの要請に基づく離島からのコロナ患者搬送対応
3. 航空機内における衛星電話使用の検証

海上保安庁 警備救難部救難課

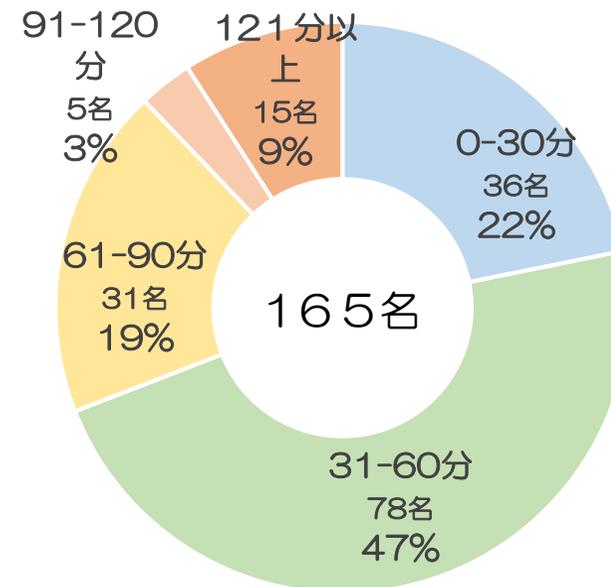
医療支援調整官 佐々木 千寿

国籍別



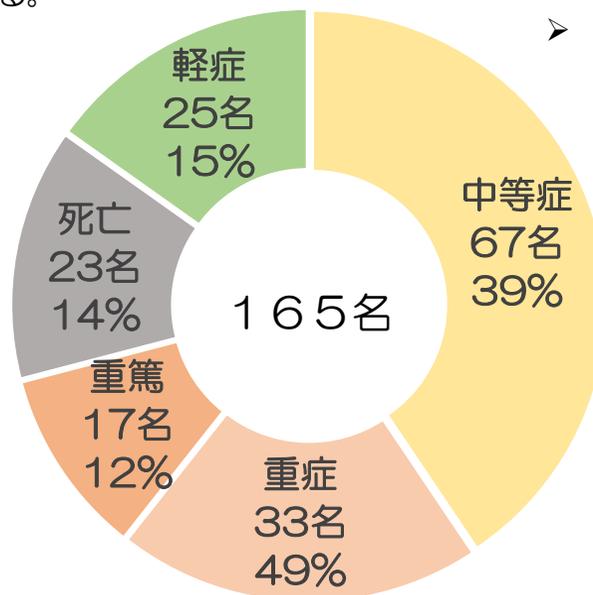
▶ 外国籍傷病者の対応が約3割を超える。

傷病者接触時間別



▶ 120分を超える症例が約1割を占める。

重症度別



▶ 中等症以上の傷病者対応が例年8割を超える。

海保救命士の救急対応は件数そのものは少ないものの、
 ○中等症以上の搬送が多い
 ○外国籍傷病者が多い
 ○長時間搬送
 といった特徴を有する

2. 自治体からの要請に基づくコロナ患者搬送状況例

※ R2年度は各自治体から離島からの患者搬送要請が急増

利尻島

奥尻島

令和2年11月25日～12月2日

- 感染症患者等 19名
- 千歳航空基地所属固定翼機
(函館航空基地機動救難士同乗)
- 江差保安署巡視船にて江差港、函館空港に搬送

船艇での搬送例



船内養生状況



患者搬送実施状況

航空機での搬送例

- 令和2年12月6日～11日
- 感染症患者等 21名
- 鹿児島航空基地所属固定翼機
(鹿児島航空基地機動救難士同乗)
にて鹿児島空港に搬送

航空機内養生状況



患者搬送実施状況

与那国島

西表島

令和2年8月5日～14日

- 感染症患者等 13名
- 石垣保安部所属巡視艇にて石垣島に搬送

船艇での搬送例



船内養生状況



石垣島



航空機での搬送例

- 令和2年7月23日～30日
11月5日～10日
- 感染症患者等 60名
- 鹿児島航空基地所属固定翼機
(鹿児島航空基地機動救難士同乗)
にて鹿児島空港に搬送



患者搬送実施状況



2. 自治体からの要請に基づく離島からのコロナ患者搬送対応

※ 各地において関係機関との連携訓練を積極的に実施

関係機関との新型コロナウイルス感染症患者等搬送訓練



県職員による患者の対応



巡視船内養生



消防職員による巡視船内搬送訓練

訓練参加船艇：P L型巡視船「おき」

◆ 日時場所

令和2年8月 岸壁着岸中のP L型巡視船「おき」

◆ 訓練参加者

境海上保安部(P L型巡視船「おき」)、島根県健康福祉部、隠岐保健所、隠岐広域連合消防本部隠岐消防署

◆ 概要

島根県隠岐郡において新型コロナウイルス感染症患者等が発生し、島根県からの要請に基づき巡視船にて本土へ患者を搬送した際、患者を巡視船から下船させる手順や巡視船船内の養生、搬送方法を海上保安庁職員、島根県職員、隠岐保健所及び隠岐消防署職員が、確認を行うとともに、実動時での連携強化を図ることを目的として実施。



○ 電波法 「携帯移動地球局」に該当

航空機内においても使用は可能

○ 航空法施行規則第164条の16第4号

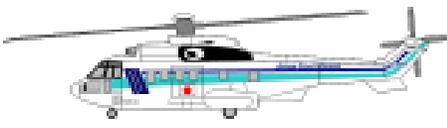
救急業務使用は「正当な理由」に該当



【飛行時等における通話状況及び各航空機搭載機器への影響を確認中～】

	G-V	駐機	×	シールド性強く通話できず
		飛行中	×	通話状態不良 (空域影響の可能性有)
	Falcon200	駐機	○	試験結果良好
		飛行中	○	試験結果良好
	SAAB	駐機	△	若干ノイズが入る
		飛行中	△	電波補足が安定せず (空域影響の可能性有)
	BBD	駐機	—	検証中
		飛行中	—	検証中
	Beechcraft 350	駐機	—	検証中
		飛行中	—	検証中

EC225/SP検証中



AW139検証終了
試験結果良好



BEL412...検証中



S-76D/ C+++ 検証中

